

## 平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	01	02	104040	奨学金活用人材確保支援事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-2	学校教育の充実			
	施策	4	教育環境の充実			
目的	市奨学金の返還者へ支援を行うことにより、奨学金制度を活用した人材確保を行う。					
対象	市奨学金の返還者で、市内保育園で勤務する保育士又は市内大学卒業者で市内在住の者					
意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内認可保育園で勤務する保育士の確保</li> <li>市内の大学を卒業した優秀な人材の定住化による確保</li> </ul>					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
<p>○市奨学金の返還者で、市内認可保育園に勤務する保育士（常勤・非常勤・臨時職員問わず）に対し、返還金の半額を補助することにより、奨学金を活用した人材の確保を行う。</p> <p>○市奨学金の返還者で、市内大学を卒業した市内居住者に対し、返還金の半額を補助することにより、奨学金を活用した優秀な人材の定住化による確保を行う。</p> <p>○保育士については認可保育園に勤務している期間のみ、市内大学卒業者については市内に居住している期間のみを補助の対象期間とする。</p> <p>○公立保育園の保育士及び市職員と、奨学金返還金及び市税の滞納者は補助の対象外とする。</p> <p>○認定された者が条件に当てはまる期間は補助対象期間となるため、債務負担が発生する。</p>						
市民参画の有無 [ 対象外 ]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	○補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	補助金交付した人数	人	計画		14	
			実績		7	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	補助金交付した人数	人	目標		14	
			実績		7	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	○ 目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
補助金交付している人数が確保出来た人数と言えることから、指標として設定した。既に市奨学金の返還者で、市内保育園に勤務又は市内大学卒業者で市内居住している者が合わせて8名おり、毎年の新規対象者を保育士分を5名、市内大学分を1名見込んでいることから、14名を目標値とした。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	保育士については、待機児童の解消により働くことが可能となる人数が増加し、市税の増収につながることから妥当である。市内大学卒業生については、優秀な人材が市内に定住することによる市の発展や市税の増収につながることから妥当である。
	○ 妥当である	
有効性	見直し余地がある	
	○ 見直し余地がない	
成果の向上余地	成果の向上余地	制度の周知が重要であることから、様々なメディアを通じての情報提供が必要である。
	○ 向上余地がある	
事業費・人件費の削減余地	向上余地がない	
	事業費・人件費の削減余地	事業費の殆どが補助金であり、制度の周知が重要であることから、その経費についても削減余地はない。
効率性	事業費の削減余地がある	
	○ 人件費の削減余地がある	
公平性	どちらも削減余地がない	
	受益と負担の適正化余地	市の発展や市税の増収は全ての市民の受益となることから、適正である。
公正性	受益機会の見直し余地がある	
	○ 費用負担の見直し余地がある	
○ 適正である		
総合評価 …上記評価結果の総括		
花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定時において、「ふるさと保育士確保事業」が検討されると共に、市内大学を卒業した優秀な人材が市外へ流出していることから、その対策として事業を実施した。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-1	事業名
一般	10	01	02	104040	奨学金活用人材確保支援事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			346		346
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源		346		346

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	------	-----------------

部重点施策における目標  
子育てに喜びを感じ、安心して、健やかな成長を育んでいます。

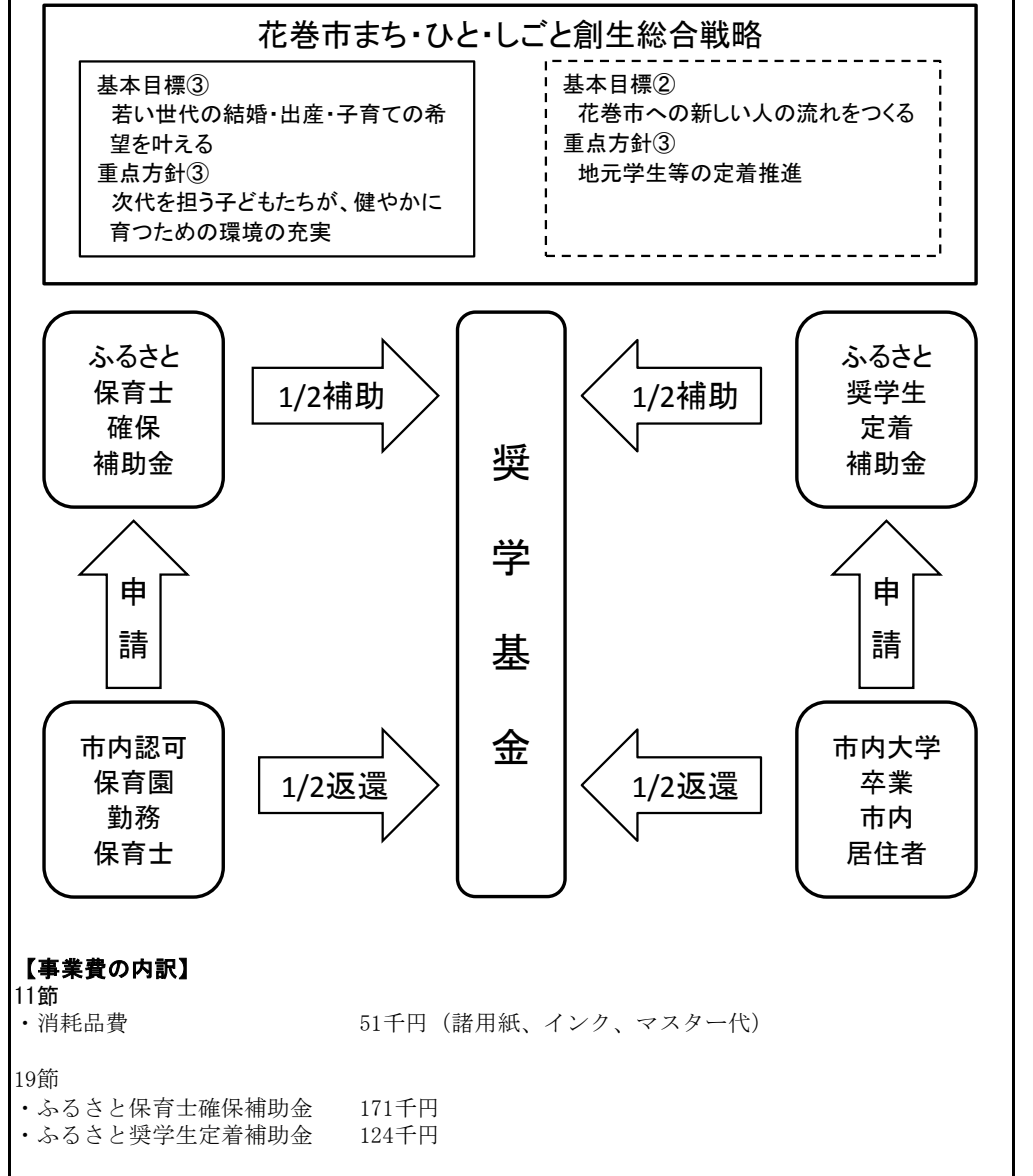
事業開始の背景・経緯  
花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略を進めるうえで、奨学金制度を有効に活用した事業実施の検討が必要になったため。

事業概要  
○市奨学金の返還者で、市内認可保育園に勤務する保育士（常勤・非常勤・臨時職員問わず）に対し、返還金の半額を補助することにより、奨学金を活用した人材の確保を行う。  
○市奨学金の返還者で、市内大学を卒業した市内居住者に対し、返還金の半額を補助することにより、奨学金を活用した優秀な人材の定住化による確保を行う。  
○保育士については認可保育園に勤務している期間のみ、市内大学卒業者については市内に居住している期間のみを補助の対象期間とする。  
○公立保育園の保育士及び市職員と、奨学金返還金及び市税の滞納者は補助の対象外とする。  
○認定された者が条件に当てはまる期間は補助対象期間となるため、債務負担が発生する。

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等  
事業実施にあたっては制度の周知が重要であるほか、勤務期間や居住の状況把握など、市内認可保育園や市内大学との連携が必須と考えられる。

担当部署 部名 教育部 課名 小中学校課 担当係長 玉山 美由紀 内線 9-30-334 (単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



平成 28 年度事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ド	事業名
一般	10	01	02	104040	奨学金活用人材確保支援事業

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標② 花巻市への新しい人の流れをつくる  
重点方針③ 地元学生等の定着推進

基本目標③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる  
重点方針③ 次代を担う子どもたちが、健やかに育つための保育・教育環境の充実

奨学金を活用した人材確保 ⇒ 奨学金の返還者への支援

奨学金活用人材確保支援事業

ふるさと奨学生定着補助金

市内大学卒業者が市内に居住している期間中  
返還金の1/2の補助金を交付

市内における優秀な人材の定着

- 優秀な人材の市内定着による地域活性化
- 市内大学の学生確保による地域経済活性化

ふるさと保育士確保補助金

保育士が市内認可保育園で勤務している期間中  
返還金の1/2の補助金を交付

市内保育園における保育士の確保

- 待機児童の解消による子育て環境の充実
- 就労機会の増加による地域経済活性化